

## 令和6年度 湘南高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

### ○課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	法令遵守意識を向上させて、勤務時間の内外を問わず、県民からの信頼を損なうことがないように、自らを律して行動する。	4月の事故防止会議で、教育公務員としての高い倫理観を保持して業務に当たることを確認した。9月に開催した事故不祥事防止研修において服務規律の遵守をテーマに協議した。公務員として、職務に専念して、服務規律を遵守することを確認した。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	人権意識を磨き、良好な職場環境の維持・確保に努め、ハラスメントをする職員をゼロにする。	2月の不祥事防止研修会において、職場のハラスメントの防止について研修した。自分の価値観や意見を一方的に押し付けることがないように、また、同僚に対する思いやりを持った言動をすることを確認した。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	職員一人ひとりが人権意識を磨き、絶対に当該行為を起こさない。	6月、12月の不祥事防止研修会において、児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止について研修した。生徒指導、部活動等については、必ず複数の教職員で対応していることを確認した。
体罰・不適切な指導の防止	常に相手の立場や人権に配慮した言動に努め、絶対に当該行為を起こさない。	9月の不祥事防止研修会において、啓発・点検資料を用いて各自点検を行った。突発的な怒りを体罰、暴言につなげないためのアンガーマネジメントを学ぶとともに、部活動インストラクター等、外部指導者による事故防止の視点から、指導を任せきりにしないことを確認した。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	全員が当事者意識を持って業務にあたり、盤石な体制で臨むことによって事故を未然に防ぐ。	1月の事故不祥事防止研修会において、入学者選抜の事故防止をテーマにして、過去の事例から学ぶことをした。気になることは必ず情報共有し、管理職に伝える等、重要項目について点検を行った。入学者選抜、成績処理等、適切に実施できた。
個人情報の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の漏洩及び紛失を未然に防ぐ。	10月の事故不祥事防止研修会において、個人情報の取扱いと情報セキュリティについて研修を行った。USBの管理をはじめ、文書の保存と廃棄や欠席者の試験答案の適切な保管方法について、あらためて理解を深めることができた。
業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	教育公務員としての高い倫理観を持ち、組織として計画的かつ適正に業務を執行する。	企画会議及び職員会議の都度、管理職から、不祥事防止の具体例を示して、「湘南高校から絶対、事故不祥事を出さない」ということを確認した。学年やグループ業務においても相互チェックを励行した。
財務事務等の適正執行	私費会計基準に則して適正に会計処理を行う。	11月の事故不祥事防止研修会において、適切な私費会計の取扱いについて研修を行った。また、今年度の財務事務調査指導結果を会計担当者だけではなく、全体場で共有するとともに次年度に向けて改善策の確認をした。

### ○ 令和6年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和7年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

令和6年度、風通しのよい職場づくりに継続して取り組み、本校において事故不祥事はなく達成状況は良好であったと考えている。教職員によるわいせつ事案、体罰等の不祥事が発生するたびに情報共有を行い、注意を喚起してきた。「湘南からは事故・不祥事は出せない」をスローガンとして、教職員一人一人の使命感の自覚を促すとともに、気にかかることは速やかに相談や報告ができるよう、管理職による継続的な声掛けや同僚性の構築を徹底し、プログラムの各課題の目標を達成することができた。

令和7年度も生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止、財務事務等の適正執行、個人情報の管理を重点課題として、不祥事防止研修会等で職員の意識啓発を行うとともに、日常の指導助言を通じて当事者意識を高めさせていきたい。